

令和5年度 自己評価結果公表シート

日知屋幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標 子どもの「自立」と「共生」の心を育む ○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標 1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。 2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。 3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4. 安心して安全な幼稚園を保障するための取り組みに努める。 5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。 6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	A	一人ひとりの姿を捉えながら、集団活動の楽しさや充実感を味わえる様、社会体験や制作活動などに取り組んだ。ラジオ体操を毎日取り組み、健康な体作りに取り組んだ。
(2)道徳指導等の充実	A	相手を思いやり、自分が聞いて心地よい言葉遣いなどを用いることで、周囲との信頼関係や一体感を味わい、その雰囲気の中に存在する「自分」を自覚できるよう励ました。
(3)基本的な生活習慣	B	基本的な生活習慣を理解し、一つひとつ丁寧に行動するよう呼びかけた。園生活のみならず家庭やその他の場面でも応用して習慣化、継続して行って欲しい。
(4)安心して安全な幼稚園	A	避難訓練、防犯訓練を月1回実施し、遊具の使い方や園での過ごし方など確認した。感染症拡大予防策を継続しながら本来の活動が充実できるよう環境づくりに努めた。
(5)小学校との連携	B	幼保小連絡会等を通し連携を図ることに努めた。特別支援の面も含め、さらに共通理解を図っていきたい。
(6)豊かな交流体験の充実	A	社会体験（客船見学）の際に、乗客、乗務員に向けて歌を歌いたくさんの拍手や励ましの言葉を頂き、初めて出会う人たちとの交流の喜びやふれあいを体験した。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
B	日々の保育の見直しや少人数の中でも集団活動が充実できるよう意識しながら取り組んできた。また、異年齢の交流、食育活動の取り組み、制作活動、社会見学などを積極的に取り組んだ。そこで芽生える感動や感性を豊かにするきっかけ作りや友だちとの交流を通し、思いやりや言葉の使い方などを意識していくよう働きかけた。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	教育理念の理解、確認と共に保育、生活に反映できるよう努める。
(2)道徳指導等の充実	日頃の気付きや関り、思いやりなどを大切にできる心情や行動が反映できるよう働きかけ、人権啓発の研修等への参加を活かすことを大切にする。
(3)基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の指導の意識を高め、実行できるよう働きかけを工夫するように努める。
(4)安心して安全な幼稚園	定期的な安全点検、避難訓練の計画と共に日々の周囲の様子観察を意識する。
(5)小学校との連携	現在行っている連携に加え、幼保小中の連絡会での共通理解を深めていきたい。
(6)豊かな交流体験の充実	園内の園児同士の交流、様々な世代や地域の方々との交流を深めていきたい。